

きずな

6月号
2023年

KIZUNA Vol.436

特集

病理診断科の紹介～「胃病変が診断されるまで」を例に～ P2

検体検査部門の1日～臨床検査科～ P3

●がん診療センターシリーズ VOL.3 ～切除術～ P4

●当院の連携医 安曇野ななき診療所 P5

●新任医師紹介、ひとりごと、おすすめレシピ P6

●がん患者サロン「てるてるサロンあづみ」再開します!、「宝の箱」、 P7
認知症疾患医療センター「問診票」ダウンロードのごあんない、求人情報



鏡面の白馬大池 photo by 猪股崇志

発熱・かぜ症状のある
方は、まずはお電話を!
0261-62-3166



あづみ病院 
<https://www.azumi-ghp.jp/>



North Alps Medical Center Azumi Hospital

JJA長野厚生連 北アルプス医療センター
 あづみ病院



病理診断科の紹介

「胃病変が診断されるまで」を例に

病理診断科 臨床顧問

なかやま じゅん
中山 淳

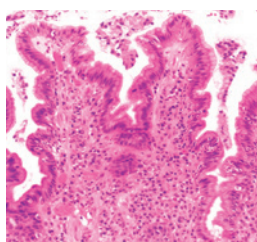
病理診断科は令和5年4月1日に開設された新しい診療科です。現在、常勤病理医1人と信州大学からの非常勤病理医1人が勤務しており、2人とも日本病理学会により認定された病理専門医です。

病理診断科では病理診断に係わる様々な業務、具体的には組織診断、細胞診断、剖検を担当しています。組織診断は生検や手術で採取された組織や臓器を顕微鏡で詳しく調べることで、病気の診断や病変の広がりなどを明らかにします。また、腫瘍の手術中に、病変が切除されたその断端部に腫瘍細胞が残っていないかどうかを術中に検査する迅速診断も組織診断の一つです。最近のがんゲノム医療の発展に伴い、必要に応じてがんの分子標的療法に係わる有益な情報も組織診断を通じて提供しています。細胞診断は子宮頸管擦過検体やリンパ節から穿刺吸引された検体などを対象に、採取された細胞の良性・悪性も含めて日本臨床細胞学会により認定された細胞検査士と連携して判定します。剖検は、不幸にしてお亡くなりになられた患者さんのご遺体を解剖し、病変

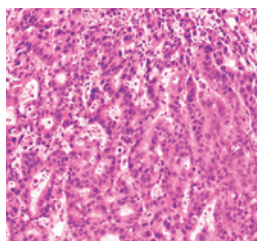
の進展や死因の究明などを目的として行います。

ここでは、病理診断業務の中でも、日々行われている生検の組織診断について、胃病変を例にご紹介します。皆さんは胃の不調があると、まず消化器内科を受診されることが多いと思います。医師の診察を受けた後、必要があれば内視鏡検査を受けることとなります。内視鏡検査で病変が指摘されると、そこから生検がなされます。生検検体は直ちにホルマリン固定された状態で病理検査室に届けられます。病理検査室で生検検体はパラフィンに包埋され、そこから熟練した臨床検査技師が3μmの薄い切片を作製し、ヘマトキシリン・エオジン染色を行います。病理医はその標本を顕微鏡下で観察し、いわゆる「細胞の顔つき」などを評価しながら良性・悪性の判定も含めて病気の診断を行います。当院では通常、生検検査の結果は3日以内に報告できるよう努めています。①の写真は、慢性活動性胃炎の組織像です。この胃粘膜にはしばしばピロリ菌が見つかります。ピロリ菌は胃がんの原因菌で

あることから、ピロリ菌が見つかったと除菌の適応になります。②の写真は、胃がんの組織像です。胃がんと診断されると、がん細胞が粘膜内に留まっている場合、通常は内視鏡的切除、がん細胞が胃壁を浸潤している場合には手術の適応となります。



①慢性活動性胃炎の組織像



②胃がんの組織像

いずれの場合も切除された検体は病理検査室に提出され、そこでがん細胞の顔つき（組織型と言います）、切除断端部にがん細胞が残っていないかどうか、がん細胞が静脈やリンパ管に浸潤していないかなどについて病理医により詳細な検査が行われます。その結果は直ちに主治医に伝えられ、この結果を踏まえて今後の治療方針を決定します。

この様に、病理診断科では直接患者さんと接することはほとんどありませんが、病理診断を通じて質の高い医療に貢献しています。



検体検査部門の1日、臨床検査科

臨床検査科技師長

佐々木 朝海 ささき ともみ

臨床検査科には19人の国家資格を有する臨床検査技師が在籍し、3つの部門に分かれて検査をしています。このうち採血室の奥に広がる「検体検査部門」では、毎日300人以上の患者さんから採取された血液、尿、便などの成分を分析しています。



検体を検査にかけている様子

臨床検査科の仕事は毎朝7時から病棟へ行き、入院患者さんの採血をして検体を回収することから始まります。多い日では60人を超える入院患者さんの検査結果を、外来が始まる9時までに報告することを目指して速やかに検査を行っています。

外来患者さんの採血を担当する中央採血室は入院患者さんの検査が落ち着いた8時20分頃から始まります。早朝から多くの患者さんのお待ちになっていることがあります。間違えが生じないよう、名前や生年月日を確認し、安全で迅速な採血を心がけています。8時〜10時までは大変混雑するため、予約時間に余裕のある方は10時以降が比較的待ち時間なく採血することができます。

入院、外来共に患者さんより採取した血液や尿などの検体は、それぞれの検査機器を用いて検査を行い、特殊な検査を除いて採血からおよそ1時間で結果がでます。検査機器から出た検査値が患者さんの

病状や状態を正しく反映しているかの確認を行うことは、臨床検査科の重要な仕事です。全ての患者さんに対して、熟練した臨床検査技師が検査結果に目を通してから報告しています。また、検査結果が著しく悪い場合には、直ちに治療が開始できるように主治医へ直接報告をしています。

臨床検査科では休日や夜間であっても、地域の皆さんの健康維持に貢献できるように、24時間365日休むことなく、常に「迅速で正確な検査」を提供できるように万全の体制を整えています。





がんの切除術の起源は古く、紀元前1650年頃の古代エジプトでは乳がんを切除した記録が残されています。内臓のがんに関しては、1881年1月29日ウィーン大学の外科教授ビルロートが胃がんの切除に成功しています。彼が開発した手術方法（ビルロート法及びⅡ法）は現在も我々消化器外科医が汎用しています。これらのエピソードは、当時の人々ががんを切除することで病態が改善することを本能的・経験的に知っていたことを示しています。

時代とともにがんの研究が進み、がんの切除術は①切除方法及び②切除範囲を軸に多様化してきました。

①切除方法の多様化…従来内臓のがんに関しては開胸・開腹手術による切除が主流でしたが、現在は内視鏡、胸腔・腹腔鏡（図1）といったカメラを活用した方法が急速に普及し負担軽減（低侵襲化）に寄与しています。

②切除範囲の多様化…がんが進行すると病巣周囲のリンパ節にまず転移することが知られており、これらのリンパ節を併

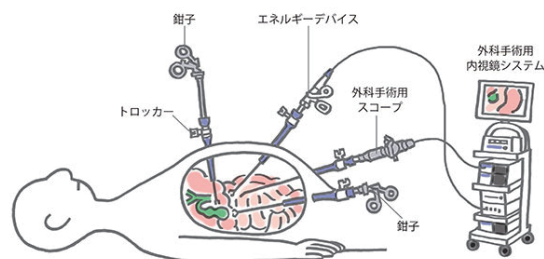


図1 腹腔鏡下手術
画像提供…オリンパス株式会社
おなが健康ドットコムより

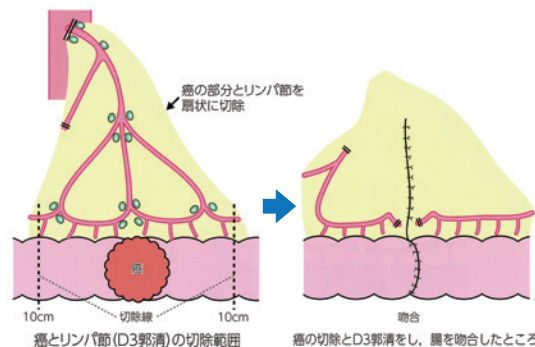


図2 結腸切除とリンパ節郭清
出典…金原出版株式会社「患者さんのための大腸癌治療ガイドライン」2022年版 P26より

せて切除すること（リンパ節郭清と呼びます）が標準治療として定着しています（図2）。しかし、診断学の進歩とともに胃や大腸の早期がんではリンパ節転移がほとんど認められないことが明らかとなり、消化管壁の一部（粘膜および粘膜下層）を切除するのみでがんを治癒させることができる（図3）ことが示されています。

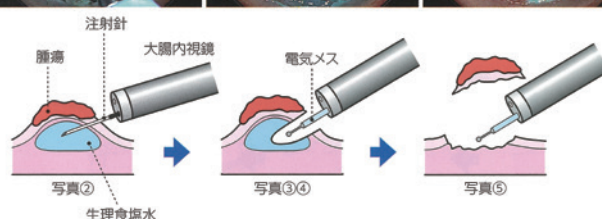
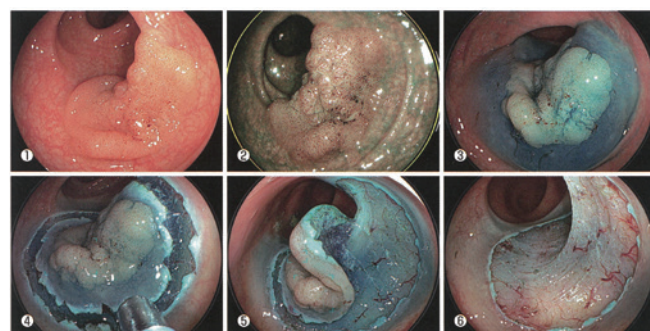


図3 内視鏡的粘膜下層剥離術

出典…金原出版株式会社「患者さんのための大腸癌治療ガイドライン」2022年版 P24より

現在でも切除術はがん治療に重要な役割を担っておりますが、抗がん剤など併用療法も急速に進み、がんの治療は複数の方法を複合して適応する集学化へと進んでいます。

我々ががん診療センターでは、複数の診療部門が緊密に連携し個々の患者さんに対して最適な治療方法をみんなで検討し、還元していきたいと考えております。

当院の連携医

安曇野ななき診療所

私が精神科に入局したのは、当時脳機能障害の臨床については、今のような脳神経内科がなく精神科の一部の方たちが行っていたからで、私も、大脳病理学、神経心理学、脳機能画像研究に従事していました。その流れから、やがて認知機能障害を抱え、時には認知症状態になる方たちを診療することになりました。

当時は、まだ「認知症」などという病気はなく——今も正しくはそうなのですが——、認知症は症状群であり状態像であるときちんと位置付けられていましたので、専門医は脳機能障害を詳細に診断して原因となる病気を診断し、症状の改善、生活状態の改善を目指すものでした。

開業のいきさつ

大学の医局から派遣されていた病院の仕事で62才の年に退職し、12年前に長く憧れであった安曇野に移り住みました。それまで脳障害の方たちを中心に診ていて、いわゆる精神科の病気の方を診たことは少なく、精神科病院に勤めたこともなかったもので、一度は勤めてみようかと、安曇野にあ

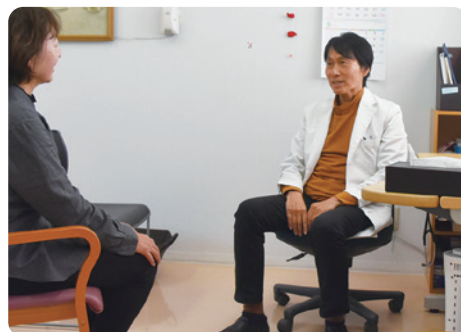
る精神科病院に勤めてみました。心配していた通り、私には全く合わず後悔して悩んでいた時に、ある方から話があって今の診療所を7年前に開設しました。

卒業した関西の大学で行っていた地域との連携による認知症状態の改善や予防治療をこちらでも実行しようと思っていました。

多くの無理解による失望がありました。が、今は、心ある介護スタッフや介護者の方たちと「治療としての介護」とその基礎となる脳機能低下の理解を診療の軸として、認知症関連疾患の本来あるべき治療を目指しています。

また、脳は体の一部ですから体の機能を改善することは必須のことで、別々に行うものではありませんから長く訓練を受けた内科診療も行っています。

馬との生活の文化が強く残り、登山の文化が根付いている信州安曇野。その文化に楽しみながら、「認知症」扱いされている方々が少しでも良い生活が送れるようにと、日々診療に励んでいます。



院長 岸川 雄介 (きしかわ ゆうすけ)

医学博士 日本精神神経学会 会員
日本老年精神医学会 会員

	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	休診	診療	診療	診療	診療	診療	休診
14:00~17:00	休診	診療	往診	診療	往診	診療	休診

標榜診療科 内科・心療内科・精神科

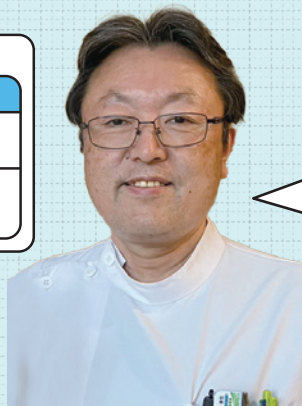
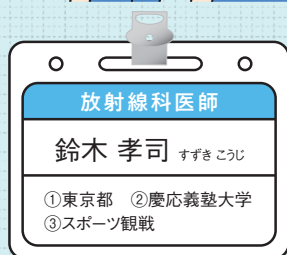
〒399-7104 安曇野市明科七貴4588-1
TEL 0263-31-5779



新任

医師紹介

- ① 出身地
- ② 出身大学
- ③ 趣味



はじめまして、前任地横浜から6月よりお世話になっております鈴木孝司と申します。こちらは妻の実家があり、コロナ騒ぎの以前は毎年1-2回程度訪れており、その自然の豊かさに魅了され、60歳を機に安曇野への移住を決めた次第です。こちらでは、どのようにみなさんにお役に立てるかまだまだ暗中模索ではありますが、ぜひお見知り置きください。とりあえずは開けた放射線科を目指し、疑問や質問など遠慮せずお尋ねいただければ幸いです。これといった趣味はないのですが、暇なときはテレビでのスポーツ観戦を主に時間をすごしております。これから、安曇野の地に根をおろして、頑張っていく所存であります。どうかよろしくお願いいたします。



社会人生活がはじまりました

看護補助者 滝澤 未来

4月に入職し、新しい生活が始まり1ヶ月が経ちました。私は、5階病棟地域包括ケア病棟の看護補助者として働いています。5階病棟は、在宅や施設に復帰するために退院支援をする病棟です。業務内容は、転院患者の受け入れ、退院患者の片付け、食事介助、おむつ交換、介助浴などさまざまです。他にも、薬箱の片付けや機械の取り付け、レントゲン室への案内など多くの仕事があります。今後は、早番や遅番業務も始まるので、1日でも早く独り立ちできるように頑張りたいです。

休日は有明にある「OLIKA」というカフェでランチを楽しみました。グラタン、オムライス、キャッシュウレも洒落で美味しかったです♡



旬のオクラを使った時短簡単レシピ

オクラには血中のコレステロールを減らし、血圧を下げる効果があります。また体内の塩分を排出するカリウムや骨を強くするカルシウムも含みます。

簡単！ オクラのナムル

材料(2人分)

オクラ 1袋(約8本)
ごま油 小サジ1
めんつゆ(3倍濃縮タイプ) 小サジ1

作り方

- ① オクラを洗い食べやすいサイズにカットして耐熱容器に入れ軽くラップをしてレンジ[600w]で2分ほど加熱する。
- ② めんつゆを軽く振りごま油を回し入れて、器に移して完成。



栄養素量
(1人分)

エネルギー 46Kcal
たんぱく質 1.1g
塩分 0.3g

● 調理師 まつざわ はるか 松澤 晴香

お好みで炒りごまを振ったり、韓国海苔をあわせても美味しくいただけますよ！

北アルプス医療センター あづみ病院 休診日のお知らせ (赤字の日が全科休診日です)

2023 6月 June

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

2023 7月 July

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

お知らせ 休日緊急当番医

●6/11(日)
本院(大北南部地区)
●6/4(日)
白馬診療所(大北北部地区)

北アルプス医療センター あづみ病院理念

質の高い医療と社会への貢献をとおし、地域の皆さまから信頼される病院を築きます。

〈基本方針〉

- ① 医の倫理を守り患者さんの権利を尊重し、平等で親切、安全な医療・福祉サービスを提供します。
- ② 救急医療から在宅医療まで広く、地域の皆さまの安心を支えます。
- ③ 地域の皆さまのこころの健康を支える、やさしい医療につとめます。
- ④ 日々の研鑽に励み、明るい職場環境造りと信頼される医療人の育成につとめます。
- ⑤ 保健予防活動を通じて地域の皆さまの健康増進に貢献します。
- ⑥ 研究・文化活動を積極的に展開し豊かな地域づくりに貢献します。

がん患者サロン「てるてるサロンあづみ」再開します!

がん患者さんやその家族が同じ体験をした仲間と語り合える場所です。

- ◆テーマ「がん治療と生活とお金」後半は語り合いです。
- ◆6月26日(月)14:00～15:30
- ◆7階やまなみホール北



予約不要
参加無料
見学OK



年間スケジュール

「宝の箱」



よりよい病院になるために、患者さんからいただいたご意見の一部を紹介いたします。

ご意見・ご要望

＜管理栄養士へ＞
・4年前の入院時に管理栄養士の指導を受けました。指導に従った食事を4年間続けた結果、体重減少、血圧の正常化等の効果がありました。
・今回再入院しましたが、食事が美味しく、毎回完食でした。栄養指導を受け、薄味でもご飯が美味しく感じるようになりました。

お返事

体重減少や血圧の低下など、日々の食事療法だけでなく生活全般において努力された結果と敬服いたします。減塩の取り組みが定着され、味覚も変化して良好な食事療法を行っていただけている様子に、担当した管理栄養士も大変喜んでおります。今後とも、食事療養継続のお供にぜひ管理栄養士を活用いただければと思います。貴重な声をありがとうございました。(栄養科責任者)

その他のご意見は、正面玄関入った返答コーナーに掲載しております。

認知症疾患医療センター「問診票」 ダウンロードのご案内



ダウンロードは
コチラから

認知症疾患医療センターでは、予約制で診察を行っています。当日は、問診票の内容を参考にしながら、詳しい様子をおうかがいしますので、初めて診察を受ける方には、問診票の記入をお願いしています。問診票は、外来で記入もできますが、事前にホームページからダウンロードが可能です。

求人情報

お問い合わせ 総務人事部
☎ 0261-62-3166



募集職種は
こちらから

自然ゆたかな環境で働きませんか?あづみ病院・白馬診療所では、私たちと一緒に働いてくれる方を募集しています。長野県にIターン・Uターンを考えている方。田舎への移住を考えている方。

【勤務地】

- 北アルプス医療センターあづみ病院
- 北アルプス医療センター白馬診療所

いつでも職場見学OK!
スキルアップサポート
プライベート時間の充実

編集 後記

清々しい初夏を迎えました。今年の夏は外でたくさん体を動かし、暑さに負けず健康な日々を過ごしたいと思います。また、熱中症にも十分気をつけたいものです。

(C.N)

6月担当医表

受付時間:平日7:30～11:30

第1・3土曜7:30～11:00

問い合わせ:0261-62-3166

予告なく変更されることがありますので、ホームページの休診案内をご確認下さい。

※診療科により受付時間が異なります。※青字は、信大医師又は非常勤医師が診察します。

(○日)は、今月の診療日を表しています。

2023年6月1日現在

診療科目	曜	月	火	水	木	金	第1土	第3土
内科	内科 午後 受付13:00～15:00	仲村彩子	岡田光代(6.13.20日) 富田 威(27日)	東方壮男	林田研介	村木 崇		
	循環器内科	麻生真一(初診) 富田 威 東方壮男 百瀬智康	富田 威 東方壮男 桑原宏一郎(予約制)	東方壮男(初診) 富田 威(7.21日) 百瀬智康 麻生真一	大熊ゆかり (予約制)	百瀬智康(初診) 富田 威 東方壮男 麻生真一	百瀬智康 (初診) 東方壮男	東方壮男 (初診) 麻生真一 (初診)
	消化器内科	天野仁至		村木 崇	天野仁至(初診)	村木 崇(初診)		
	呼吸器内科	池川香代子	岡田光代	岡田光代(初診)	池川香代子(初診) 岡田光代	花岡正幸(10.30～)(9.23日) 松原美佳子 (予約制)	岡田光代 (初診)	岡田光代
	脳神経内科	林田研介(初診)	林田研介	林田研介	林田研介	林田研介	林田研介 (初診)	林田研介
	血液内科	仲村彩子 (予約制・午後)	武岡康信(初診) 仲村彩子(初診)		武岡康信(初診) 浅井麻理子(予約制・午後)	武岡康信 (予約制・午後)		武岡康信 (初診)
	総合内科		林田研介					
	専門診療 (予約制)		西田大晃 (糖尿病13:30～)	高松良太 (リウマチ・膠原病)	上條祐司 (腎臓内科)	田中榮司 (肝臓)	岸田 大 (リウマチ・膠原病)	高松良太 (リウマチ・膠原病)
精神科	循環器病センター (予約制・午後)				心不全診療(1.15日) + 看護 デバイス診療 専門外来			
	精神科 (予約制)	中村伸治 由井寿美江 春原隆史 樋端佑樹(26日)	荻原朋美 春原隆史 岩切啓太	中村伸治 由井寿美江 小野昌大 鬼頭 恒(午前)	荻原朋美 中村伸治 春原隆史	荻原朋美 中村伸治 山崎慎一 村田志保	中村伸治 春原隆史 白石 健	
小児科	初診(午前)/認知症診療 (予約制)	輪 番	輪 番	輪 番	輪 番	輪 番		
	午 前	小口弘子 保刈 健(10:30～)	保刈 健	小口弘子	保刈 健 小口弘子(予約制10:30～)	小口弘子 又は 保刈 健	信 大	
	午後 (事前TEL必須) 受付14:00～16:00 (予約制)	輪 番 小口弘子(慢性疾患)	輪 番 予防接種・乳児検診	輪 番	輪 番 予防接種 小口弘子(慢性疾患16:00～)	輪 番 保刈 健(慢性疾患)		
外科	一般外科	江原毅人	本山博章	本山博章 又は 江原毅人	本山博章	江原毅人	本山博章 又は 江原毅人	
	呼吸器外科	花岡孝臣	手術日(急患対応は要相談)	小野祥太郎	花岡孝臣	小野祥太郎	花岡孝臣	
	形成外科(予約制)		常川主裕(13:00～)					
	専門診療 (予約制)	乳腺 (予約制)		網谷正統(14.28日) 大場崇旦(7.21日)				
	甲状腺 (予約制)					伊藤研一(2.16.30日) 金井敬晴(9.23日)		
整形外科	心臓血管外科 (受付15:00まで)			信 大(14:00～)				
		ストーマ外来 (予約制) ※看護専門外来						
整形外科	初診 (受付10:30まで)	太田浩史 (下肢) 小田切優也	中村恒一(手・肘) 太田浩史(下肢 輪番) 狩野修治	伊藤慎太郎 狩野修治(下肢)	向山啓二郎(脊椎) 政田啓輔(9:30～)	中村恒一(手・肘) (9:30～) 信 大	信 大	
	再診 (予約制)	狩野修治	向山啓二郎 伊藤慎太郎 高橋 淳(20日)	向山啓二郎 太田浩史 小田切優也	中村恒一	政田啓輔	村上成道 (スポーツ障害・予約制)	
	肩関節治療センター (紹介状なし受付10:30まで) (紹介状あり受付11:00まで)	石垣範雄(予約制) 畑 幸彦(予約制)	手術日	石垣範雄(初診)	手術日	石垣範雄(初診) 畑 幸彦(予約制)		畑 幸彦 (予約制)
皮膚科	皮膚科 (受付10:00まで)	小口美抄枝	小口美抄枝			小川英作		
	泌尿器科		平林直樹 (再診の予約のみ)	塩崎政史(7.21日) (初診受付10:30まで)	小川典之 (初診受付10:30まで)	平林直樹 (再診の予約のみ)		
女性骨盤底医学センター (予約制)		ストーマ外来 (予約制) ※看護専門外来						
				西澤 理(14.28日)				
産婦人科(予約制)		小野元紀			時光亜希子			
	眼科	太田いづみ (初診受付10:00まで)	信 大 (初診受付10:00まで) (9:15～)		太田いづみ 寺島紀子(9:30～) (初診受付10:00まで)	太田いづみ 寺島紀子 (初診受付9:30まで) (再診受付10:00まで)	信 大 (初診受付9:30まで) (9:15～)	
耳鼻咽喉科 (平日受付16:00まで)			信 大 (14:00～)			信 大 (14:00～)	信 大	
	放射線科	鈴木孝司	鈴木孝司	鈴木孝司	一戸記人(午後)			
麻酔科 (予約制)			新倉明和 (手術前診察)	小林浩一 (ペインクリニック)	新倉明和 (手術前診察)			
	リハビリテーション科(予約制)	畑 幸彦	畑 幸彦	石垣範雄	石垣範雄	石垣範雄	石垣範雄	
歯科口腔外科		長汐沙千穂 西牧史洋	手術日 (急患対応は要相談)	長汐沙千穂 西牧史洋	長汐沙千穂 西牧史洋	長汐沙千穂 西牧史洋	西牧史洋	長汐沙千穂
	緩和医療外来 (予約制)		花岡孝臣(13日) 武岡康信(20日) 間宮敬子(27日)					
在宅支援科(予約制)		仲村彩子 (13:00～)			池川香代子 (13:00～14:00)			

白馬診療所

問い合わせ TEL:0261-75-4123 FAX:0261-75-4182

内 科 人工透析 リハビリテーション科	下里修一 富田 威(午後)	下里修一 木村知子	下里修一 木村知子 整形外科(28日)	下里修一	下里修一 木村知子	下里修一 木村知子
---------------------------	------------------	--------------	---------------------------	------	--------------	--------------

きずな

2023年
6月号 vol.436
毎月1日発行

発行:〒399-8695 北安曇郡池田町池田3207-1 TEL:(0261)62-3166(代) JA長野厚生連北アルプス医療センター あづみ病院
発行責任者:事業所長 畑幸彦 編集:きずな編集作業部会 <https://www.azumi-gmp.jp/> 印刷:PO印刷(株)



この印刷物は環境保全のため、
ベジタブルオイルインクを使用しています。